

鈴木ひとみ市政報告



鈴木ひとみ

ごあいさつ

10月になり、すっかり秋めいてきました。この夏は新型コロナウイルスの感染拡大の懸念と、観光業を中心にそれでも集客をはかりたいという思いが交錯し、大変悩ましい夏でした。海水浴場が開設されず、祭りや花火などのイベントも次々中止、「いつもと違う夏」から秋になり、なんとなく気分も沈んだままの方も多いのではないのでしょうか。

感染拡大に注意を払いながらも、前を向いて進んでいきましょう。



きれいな海岸はわたしたちの大切な宝物

どうすれば海岸の管理がうまくいくのでしょうか。

海水浴場は開設されませんでした。多くの観光客が海岸へ押し寄せました。海岸は、誰でも自由に使える場所です。けれども駐車場でのマナー違反、水上バイクの危険航行や騒音、ゴミの放置など数々の苦情が市民から寄せられました。館山市としては、海水浴場未開設の看板やチラシ、市が管理している駐車場の閉鎖、パトロールや防災無線での呼びかけなど市の権限でできる限りのことは行い、県への要望もしてきたが、思うような結果は得られなかったとのことでした。

館山市が県から海岸の管理権限を移譲し、海岸の管理を行うことで、より臨機応変な対応が可能となると考えますが、市は多くの課題があり、困難としています。県と協力し、様々な工夫により打開できるのではないのでしょうか。神奈川県では「かながわ海岸美化財団」を設立し、海岸清掃を行っています。県や他の海岸を有する市町と協力して、より良い方法を模索してほしいと思います。